

こころ医療福祉専門学校佐世保校  
令和4年度学校関係者評価委員会議事録

- 1 日時 令和4年9月25日（日）10:00～10:43
- 2 場所 こころ医療福祉専門学校佐世保校 3階 柔道場
- 3 委員 出席：田中秀樹（長崎県柔道整復師会）  
上田陽介（純心整骨院）  
小柳翔生（こやなぎ鍼灸整骨院）  
藤原善行、舘川大輔、森山麗央
- 4 主な意見
  - (1) 開会のことば（司会 舘川大輔）  
本会の目的及び配付資料の確認を行う。
  - (2) 委員の紹介（司会 舘川大輔）  
各委員紹介及び本校職員紹介を行う。
  - (3) 校長挨拶（校長 藤原善行）
    - ① お礼のことば
    - ② 本日の委員会の趣旨
      - ア 学校関係者評価委員会について
        - (ア) 令和3年度の教育活動の成果と課題
        - (イ) 現代社会や業界のニーズ
        - (ウ) 学校活性化に生かす
      - イ 教育課程編成委員会について
        - (ア) 昨年度の反省
        - (イ) 本年度の4月～8月までの取り組みの現状と課題
        - (ウ) 本年度の9月以降の取り組み
        - (エ) その他
  - (4) 学校自己評価の説明と評価（藤原）一別添資料による。  
学校自己評価報告書、学校自己評価結果に係る評価書の説明を行う。

(5) 令和3年度学校自己評価結果に係る委員の評価書

特に問題なし・・・○

付帯意見あり・・・△

NO	点検項目	学校関係者評価
1	教育理念・目的・育成人材像	○
2	学校運営	○
3	教育活動	○
4	教育成果	○
5	学生支援	○
6	教育環境	△
7	学生の募集と受け入れ	○
8	財務	△
9	法令等の順守	○
10	社会貢献	○

5 令和年3度学校経営総括（校長 藤原善行）

(1) 令和3年度事業報告

(良かった点)

- ア 模擬授業・互換授業の実施が、授業の質の向上につながった。
- イ 国家試験に向けた指導が、基礎学力の定着や学生の意欲向上につながった。
- ウ 個別面談実施の結果、教育の推進が実施できた。
- エ PDCAによる職員・各部署の諸問題の解決・反省を実施したことで、学校自己評価の結果につながった。
- オ コロナ禍の中、20名の学生募集ができた。

(反省点)

- ア オンライン授業による学生の学力低下に関して課題を残した。
- イ 国家試験合格率が低下しており、学生の要望に応えられなかった。
- ウ 連携校・連携施設との関係強化については達成できなかった。
- エ ガイダンスやボランティア活動など対外的な活動が実施できなかった。

(2) 令和3年度結果

- ア 国家試験合格率は72.7%であった。
- イ 就職率は100%である、うち県内就職率は72.7%であった。
- ウ 令和3年度の退学者は8名であった。本年度の課題としている。

(3) 意識して取り組む本年度の課題

- ア 国家試験・就職率100%達成、人間力の向上に努める。
- イ 自立する職業人、社会人の育成を図る。

- ウ 働きがい生きがいにつながる職業的実践教育の推進
- エ 教職員個人の自己評価の実施
- オ 入学者 25 名の達成
- カ 退学者減少対策の推進

## 6 委員意見

- (田中) 現在、入学内定者が 22 名と昨年と比べると増加しているが、外部活動ができた成果であるのか。
- (藤原) そうである。外部活動と学校訪問の成果、また、コロナ禍で県外に就職や進学を希望しない学生が増加した結果だと考える。
- (田中) 社会人の割合が高く感じるが、退学率はどうか。また、柔道整復師に興味を持った経緯はどういう流れか。
- (舘川) 社会人の退学率は新卒生より低く、社会人増加は教育訓練給付金の影響が大きい。
- (田中) 承知した。
- (上田) 学習成果について、放課後補講の内容と不参加学生に対してどのような対策を行っているのか。
- (舘川) 放課後補講については講義形式や少人数制の補講を実施した。教員の充実により、基礎科目に加え副教科の実施が可能となった。不参加学生については、面談にて参加を促している。しかし、アルバイト等の私生活を優先しているため、難しい面がある。
- (上田) 三者面談の際、保護者からはどのような話があるのか。
- (舘川) 成績表等を郵送しているが、学生の成績を面談で知ることが多い。クラス順位や模試の成績を提示し、現状を伝えている。
- (田中) 成績表は郵送か手渡しか。
- (舘川) 保護者宛に郵送している。しかし、保護者より先に学生が受け取り、保護者の元へ届いていない場合もある。
- (田中) 公式アカウントやメールで保護者宛に発信するのはどうか。
- (舘川) 入学時にアンケートを実施するなど、今後検討していきたい。

## 7 閉会のことば (司会 舘川大輔)

以上で本委員会を終了する。